

# 全道医家囲碁大会

名人戦は高橋7段が優勝（通算6度目）！  
 本因坊戦Aクラスは鈴木5段、  
 本因坊戦Bクラスは武田2段がそれぞれ初優勝！

## 第35回全道医家囲碁大会を終えて

全道医家囲碁連盟常任幹事

大泉 和夫



全道医家囲碁連盟主催による第35回全道医家囲碁大会が、去る平成20年11月15日、16日の2日間に亘り開催されました。恒例となった15日（土）の前夜祭は、道内の女流アマ棋士の会（北星会）から10名の御参加をいただき、北海道医師会館で午後2時より行われました。

平成13年の28回大会より、交流戦にはペア碁（男女ミックス）が採用され昨年で6年過ぎました。

しかし、棋力および棋風にそれぞれ個人差がありパートナーに気遣いながら打ち進める中に、予期せぬ方向に進展し、終わってみれば意外な結末というペア碁ならではの面白さもありますが、対局者の力量が反映されぬ一面もあります。

今年からは、男女対抗戦ということになりました。2戦対局し、一局目は男性軍8勝、女性軍2勝、二局目は、男性軍が油断したわけでもないでしょうが2勝、女性軍8勝とは偶然にも引分けに終わりました。

翌16日（日）は、全道医家囲碁大会の本番で会場は例年の如く、札幌市医師会館で9時15分より三宅連盟会長の開催挨拶。続いて、日本棋院北海道支部の上村収蔵プロ棋士（6段）の紹介があり、対局に入りました。

今大会は、出席者数の関係もあり従来の4局対戦が一局減り3局対戦で勝敗を争うこととなりました。この日の出席者は、名人戦8名、本因坊戦Aクラス8名、本因坊戦Bクラス8名、指導碁3名による計27名でした。

名人戦は、トーナメントを加味した変則リーグ戦方式3回戦。本因坊戦は、ハンディ戦ですがAB共に変則リーグ3回戦方式で熱戦の火蓋がきっておとされました。

名人戦は、高橋成夫（札幌医）7段と、滝本昌俊（宗



挨拶する三宅連盟会長



挨拶する長瀬道医会長

医）6段が優勝決定戦まで駒を進め、見事優勝されたのは高橋成夫7段で通算6回目でした。

本因坊戦Aクラスは、鈴木英軍5段（釧路医）が、本因坊戦Bクラスは、武田圭佐2段（札幌医）が優勝されましたがお二人とも初優勝でした。

今大会の栄冠に輝かれた先生方、本当におめでとうございます。今回はからずしも不本意な成績で終えた先生方には次回を期して好成績を残されますよう切望して止みません。

大会が早く終了致しましたので、懇親会に先立ち、名人戦の決勝戦（高橋成夫7段－滝本昌俊6段）対局の上村プロ棋士による大盤解説の時間が十分とれましたので詳しく行われ、続いて午後4時より、長瀬道医師会長ご臨席のもと懇親会に移りました。間もなく表彰式が始まり受賞者の賞品授与が行われ、会場は終始和気藹々の雰囲気の中に大会は終了いたしました。

今回は諸般の事情により止むなく欠席された先生もおられると思いますが、年々参加者の減少する傾向にあります。今回もその対策は無きものか話題になりましたが、名案は浮かびませんでした。本大会は、囲碁を通じてその愛好者の親睦を図るのが目的で、有段者のみの大会ではありません。低段者（級位）の先生方、奮ってご参加されますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、北海道医師会、札幌市医師会、メディコ北海道並びに損保ジャパン各位には多大のご支援を賜り心より御礼申し上げます。また、北海道医師会職員の皆様には早朝よりお手伝いいただき、お陰で大会が円滑に進行し無事終了したことに感謝申し上げます。



前夜祭風景



大会風景

## 名人戦優勝記

札幌市医師会  
高橋皮膚科医院

高橋 成夫



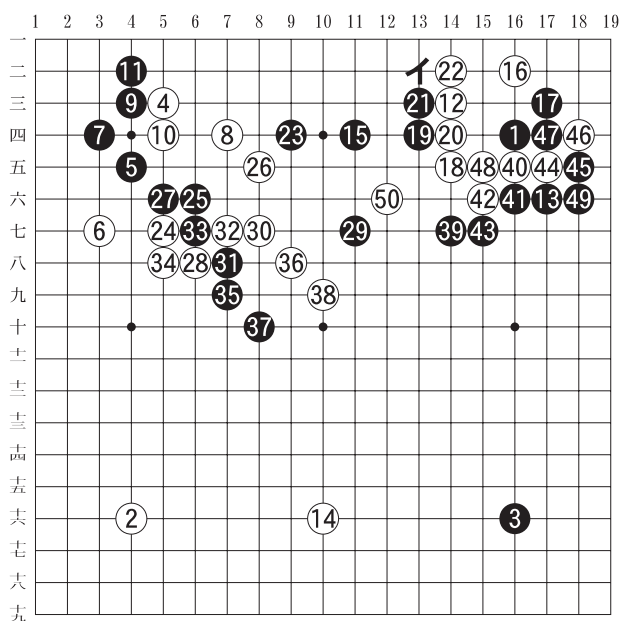
今回の優勝は平成11年の大会で、樋口先生との決勝戦で勝利をおさめて以来9年ぶりとなります。それなりの年齢となったので、もう優勝は無理かと思っておりましたが、幸運にも達成することができました。今年の大会の参加者は例年より少なく、名人戦出場者は8名となり、そのため対局数は3回戦として行うことになりました。

第1回戦の初戦は岡村先生とあたり、攻守にバランスのとれた先生との戦局は2転・3転の末、形勢不明の熱戦となりましたが、終盤なんとか勝ちを得ることができました。第2回戦は札医でよく対局している富樫先生ですが、先生の粘りで敗勢に追い込まれました。しかし投げ場を求めての打ちこみが功を奏して、持ち時間ぎりぎりまで逃げ勝つことができました。今回はツギが味方してくれているとの思いで、第3局目の滝本先生との決勝戦に臨みました。

### 【第1譜】

白14は黒15あたりに構えるのが常識的でしょうが、白番の小生としてはいささか冒険とは思いますが、白14と趣向をこらしました。さすが滝本先生、すかさず咎めるように黒15と打ち込んできました。白は分断され明らかに窮屈な局面となっております。白22は左にイとハネツギを打ち、少しでも黒に影響を与えておくところでしたか。白24に黒25と強引に割ってこられ、黒35となつては弱い石の3集団に分割され、黒に十分な模様を作らせてしまいました。黒の強固な包囲網を脱出すべく、無理筋とは思いますが白50と勝負手にでてみました。

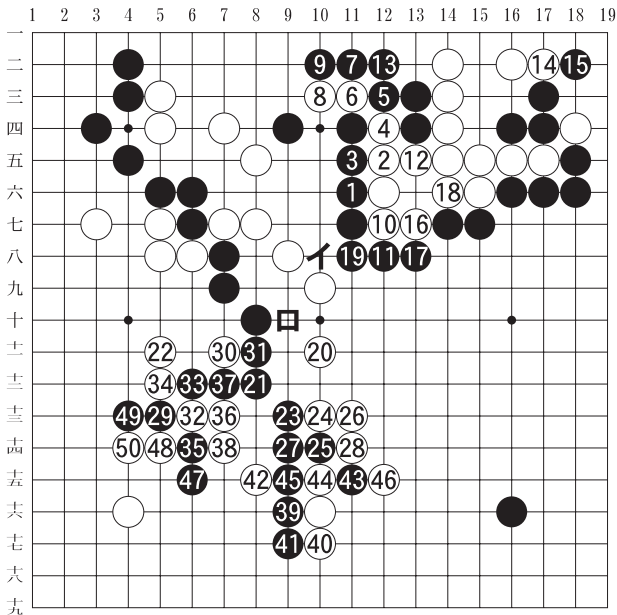
### 第1譜1～50 滝本(黒)対高橋(白)



### 【第2譜】

しかし白18と生きてはみたものの、形勢は散々たる結果に終わっております。ところがここで滝本先生にも優勢意識が窺えるような、黒19と慎重すぎるようなツギ手が出ました。ここは一路左のイとカケツギを打ち、白にツギを打たせて先手をとれば、一步先行することになって、かなり有利な展開になったものと思われれます。ほっとしながら白20を打つてみると、先に投資しておいた14の白ががぜん存在感を示し、逆に黒を追い込む状態になっております。ここで黒も遅れを取ったと意識したのか、黒29と強硬な一石を投じてきたので、白もここは強く30、32と反発して戦闘開始となりました。しかしここでは上村プロが指摘したように黒31では口にノゾキ、つづいて37にもどれば、おそらく形勢はまた逆転したものであると思われれます。白は果敢に攻撃をくりかえし、白50となつては有望な局面となつてまいりました。

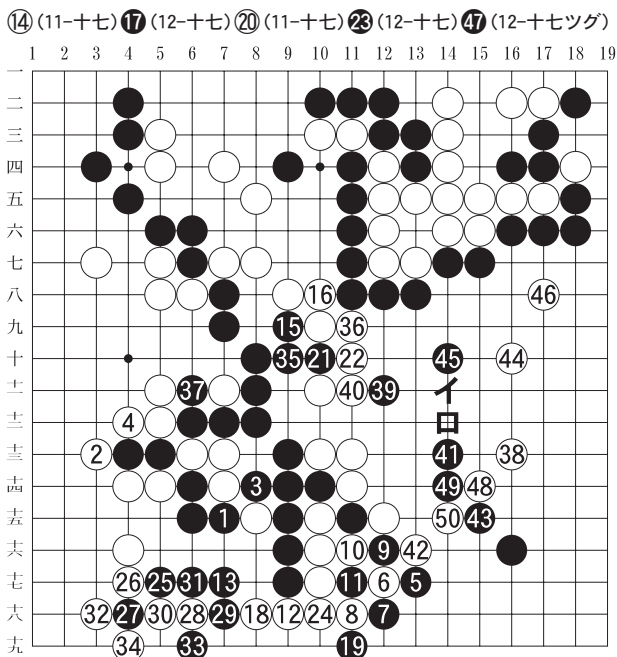
第2譜1~50 (通算51-100)



【第3譜】

黒1では白2のところにノビル手があり、この黒3子の動向がおそらく今後の焦点になったものと考えます。黒37とこの一連の黒石はやっと活きをみましたが、白は左辺にすでに30数目の実利を稼いでおり、完全に優勢な戦局となってきました。ここで上村プロも指摘したように、右辺の黒地をイまたは口と浅く消しにいく程度で、白の楽勝ではとの解説がありました。しかし未だ昔のくせが直らず、白38と黒の勢力範囲の中に打ち込み、黒も当然チャンス到来とばかりに、41、43、45と白を包囲し、白も50とキリを入れて、この一局の運命を左右する最後の生死をかけた攻防となりました。

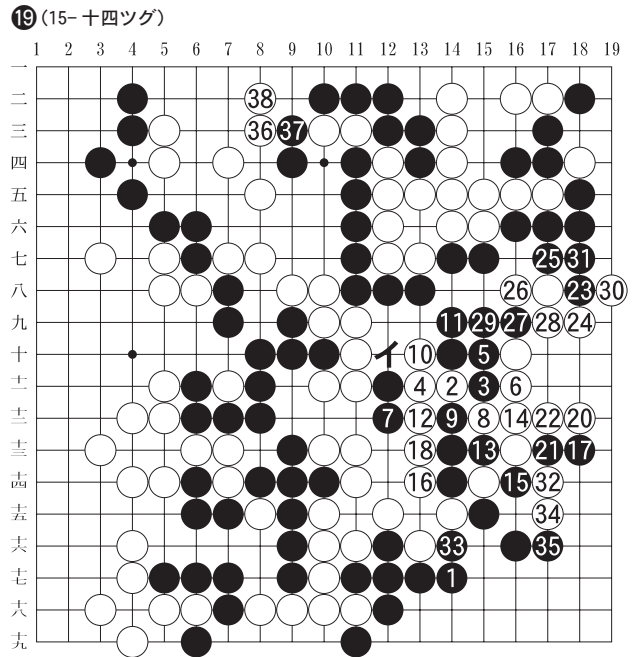
第3譜1-50 (通算101~150)



【第4譜】

黒1からお互いに油断の許せぬ攻め合いとなりましたが、ここで黒11でイの所のノビを打てば、おそらく中央の白の大石には活きはないと思われます。薄氷を踏む思いの熱戦が続きましたが、白32のキリスジをみつけ、なんとか光明が差しまいりました。以前から滝本先生にはにが経験を食べされており、今度も一歩間違えたら完全に葬られる一局でした。

第4譜1~38 (通算151-188) 白中押し勝



今回の対戦は運がつきについたという感じで、まさに勝ちを拾いまくった状態の優勝でした。さらに対局数が3回戦に減少したことも、小生等高齢者には体力的に有利なことで、もし例年の如く4回戦であれば、おそらく優勝は無理であったと思います。また最強の好敵手である樋口先生が都合により欠場したことも、それに輪をかけて幸運なことでありました。このことは優勝に物足りなさを感じますが、しかし1カ月前に行われた札幌市医師会の囲碁大会決勝戦で、樋口先生に時間に追われながらも勝ちを制しているの、これと合わせれば満足すべきことと思っております。

前回優勝記の稿の終りに、本大会の最高齢の優勝記録を作りたいと書きましたが、喜寿の年に優勝できたことは、私としては最高のプレゼントであったと喜んでおります。最近では体調もよく、それぞれの囲碁の対戦も好調であることから、これからも精進して常に優勝戦線に残っていたいものと思っております。



## 本因坊戦Aクラス優勝記 「私の平成20年」

釧路市医師会  
介護老人保健施設星が浦  
鈴木 英軍



釧路に勤めて、早や2年が経とうとしている。  
釧路に行ったため、平成20年は、私の囲碁暦に思  
い出深い1年になった。

まず平成20年の年頭に、私の職場の理事長で、釧  
路市医師会副会長 斎藤孝次先生（日本棋院の釧路支  
部副支部長）のお骨折りで、ローカル紙ではあるが、  
釧路新聞に新春囲碁対局を掲載していただいた。

対局相手は、釧路市医師会副会長 杉元紘一先生  
（日本棋院釧路支部長でもある）で、内容は散々た  
るものではあったが、晴れがましい舞台にあげてい  
ただき感謝している。

われわれ一般市民には、新聞に対局棋譜が掲載され  
るチャンスに恵まれることはあまり無いので……。

今の職場には、囲碁中毒患者が多く、昼休み、仕  
事の終えた夕方にと、対局相手には事欠かず、私の  
人生では、最多の対局数の1年でもあった。

やはり数多く打っていると、年齢にかかわらず、  
多少は強くなるらしく、平成20年の道医の囲碁大会、  
本因坊Aクラスで優勝の栄にあずかった。

最初の対局で、田口6段（札幌市医師会）とあたり  
、終盤に隅で生きられ、一瞬逆転負けかと思った  
が、私は5段でコミの必要もないので、辛くも2目勝  
ちとなった。

以後の2、3局は、この勢いに乗じ一気に突っ走り  
きった。

2局目石川先生（恵庭市医師会）、3局目伊藤先生  
（苫小牧市医師会）対局ありがとうございました。

新春囲碁に始まり、本因坊Aクラスでの優勝で終  
わり、多分私の人生では、2度とめぐり合うことのない、  
輝かしい1年であった。

以前に、囲碁連盟役員としてこの欄に投稿した時  
は、参加人数の関係で、名人戦にエントリーされ、  
無勝の時でした。この時は「恥の上塗り」のタイト  
ルで投稿しましたが、今回は胸を張っての投稿です。

対局相手の先生方、感謝、感謝……。

## 本因坊戦Bクラス優勝記

札幌市医師会  
市立札幌病院

武田 圭佐



10年ほど前から全道医家囲碁大会に参加して参  
りましたが、晴れて優勝させていただきましたこと大  
変うれしく思っております。これからも、上を目指  
しながら参加したいと思っておりますので、ご挨拶  
代わりに優勝記を書かせていただきます。

囲碁は父から教わったと記憶していますが、子供  
の頃はその面白みが分かりませんでした。また、地  
元がA級リーグでも活躍した将棋指し、勝浦修の出身  
地：紋別で、将棋が比較的盛んな土地であったこと  
もあり、小学校の頃は将棋に没頭しました。祖父は  
囲碁の有段者だったらしいのですが、結局囲碁を教  
わることはなく、将棋の相手をよくしてもらいま  
した。大学の頃に、囲碁も打てるようになりたいと思  
い、NHKの囲碁講座を見て勉強しました。帰省した折  
などに父に教えてもらったりしていました。多分、  
大学卒業時で5級あるかないかなだったと思います。  
石の生き死にをある程度理解して、囲碁の本当の面  
白みが分かってくるのが5級ぐらいではないかと思  
いますので、仕事を始めるころになってやっと面白  
みが分かってきたということになります。卒後6、7  
年目で岩見沢市立病院に勤務した折、病院に囲碁部  
があり、昼休みに院長を始めとして10人前後が集  
まって囲碁を打っていました。この中に混じって  
時々教えていただきました。また、岩見沢には依田  
紀基九段が子供の頃に教わっていた地方棋士の神田  
先生がいらっしゃいました。市立病院にも定期的  
にみえており、時々稽古をつけていただきました。こ  
の頃、初段に足が掛かったかと感じました。私の卒  
後10年目が大体10年前に相当しますが、インター  
ネットをつなげ、将碁友の会に入会して毎月30番  
前後を打ち始めました。それまでなかなか打つ機会  
がなかったのが、インターネットのお陰で気軽に囲碁  
が打てるようになりました。途中仕事の関係などで  
何年か打たない時期もありましたが、対局数も増え  
て、棋力も徐々に上がってきていると思います。

全道医家囲碁大会には、毎年結構自信を持って臨  
んで参りましたが、なかなか4番続けて勝ちきるこ  
とは難しいものです。やはり手どころで間違えるこ  
とが多く、上位の方とは力の差を感じてきました。こ  
の文を書くにあたり、北海道医報のバックナンバー  
を見てみましたが、2003年2位、2006年1位、2007年  
準優勝、そして2008年やっと優勝することができま

した。今大会は参加人数が少なく、3番勝負だったことが幸いしたかもしれませんが、最後にあたたかた八木橋先生とは二子局で偶然勝たせていただいたようなもので、力の差は歴然としています。2009年の大会では四段で打つようにいられておりますが、このままでは1勝もできずに終わるかもしれません。いい勝負ができるように、研鑽を重ねていきたいと思っております。

## 第35回大会成績表

(敬称略)

### 【名人戦】

順位	氏名	得点
優勝	高橋 成夫	27
準優勝	滝本 昌俊	19
第1位	富樫 久夫	18
第2位	前川 隆	17
第3位	南田 英俊	10

### 【本因坊戦 A クラス】

順位	氏名	得点
優勝	鈴木 英軍	27
準優勝	伊藤 長英	19
第1位	石川 順一	18
第2位	板倉 一正	17
第3位	三宅 直樹	10

### 【本因坊戦 B クラス】

順位	氏名	得点
優勝	武田 圭佐	27
準優勝	八木橋 厚仁	19
第1位	丸山 芳朗	18
第2位	高橋 誠	18
第3位	大泉 和夫	17

# お知らせ

## 第43回北海道ドクターズゴルフ大会 開催のお知らせ(予告)

標記大会を、室蘭市医師会の担当で下記のとおり開催することになりましたので、多くの会員にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

### 【前夜祭】

日時 平成21年6月27日(土)  
午後6時30分～午後8時  
会場 (未定)

### 【大会】

日時 平成21年6月28日(日)  
午前7時スタート  
会場 室蘭ゴルフ倶楽部白鳥コース  
(室蘭市崎守町293-1)  
TEL 0143-59-4641)

競技方法 18ホールズストロークプレイ  
(アンダーハンディ)  
A・B、シニア、レディースの各クラスを  
予定しております。

競技資格 北海道医師会員で公式ハンディを有する者

参加申込 北海道医報3月号、4月号および5月号附録の「参加申込書」でお申込ください。

宿泊 宿泊につきましては申込受付後、当会で依頼した旅行会社からパンフレット等をお送りしますので、ご希望の方は、各自お申込ください。

その他 ご不明な点がありましたら、大会事務局までご連絡願います。

連絡先 〒050-0083  
室蘭市東町4-20-6  
室蘭市医師会内  
北海道ドクターズゴルフ大会事務局  
(担当：高橋)  
TEL 0143-45-4393  
FAX 0143-45-2292